

## 学校関係者評価委員会開催資料

学校法人北海道安達学園  
北海道どうぶつ・医療専門学校

開催日：平成30年3月9日

出席委員：外部側関係者（業界団体関係者2名、企業関係者2名）

学校側関係者（理事長、学校長、副校長、本部室室長、事務局長、学科長）

### 平成29年度自己評価&学校関係者評価シート

北海道どうぶつ・医療専門学校

1、教育理念・目標、人材育成		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
		自己評価	関係者評価
評価項目			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
1-2	学校の特色は何か	4	4
1-3	学校の将来構想を抱いているか	4	4
評価項目総括	学校法人北海道安達学園では、3つの教育方針である「基礎知識・技術の習得」「専門知識・技術の習得」「社会性の習得」に基づき、学園使命である、教育事業を通じて、社会に貢献する人材の育成に努めています。また、総合専門学校という特徴を活かし、多様性のある環境から生まれる新しい発見を学生たちの“やる気”につなげ、学生たちが“なりたい自分になる”ためのサポートを行っていきます。実践指導の中で技術力、創造力、コミュニケーション力を養い、即戦力となりえるビジネスパーソンを育てて行くこととしています。業界関係者・保護者等への周知については、ホームページ等で周知を図っています。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	特になし		

2、学校運営		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
		自己評価	関係者評価
評価項目			
2-1	運営方針は定められているか	4	4
2-2	事業計画は定められているか	3	3
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	4
2-4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	4
2-5	意思決定システムは確立されているか	4	4
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3
評価項目総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方針は、事業計画にまとめ、毎年作成している。事業計画は、法人理事会の承認を得て、幹部運営会を經由し周知を図っている。</li> <li>・運営組織は、組織図に全教職員を組織上に位置づけ、幹部会議、校務会会議、職員会議などを通じて意思決定システムを構築している。</li> <li>・人事、給与に関する規定については、法人総務部で一括整備・管理を行っている。賃金の決定は、業務査定・業績査定に応じ行われている。</li> </ul>		
各評価委員からの意見や課題	旧来の事務作業における情報システムは複雑で効率的ではなかったため、新しいシステムに移行中。		
今後の改善方策	事業計画については、外部環境の変化に合わせ計画を考えて行く。 引き続き新システムを拡張することで業務効率向上を進めていきます。		

### 3、教育活動

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられて	4	4
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	4
3-5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	4
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
3-7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-8	教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	4
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
3-10	資格取得の指導体制はあるか	4	4
評価項目総括	業界で求められる専門知識はもちろんのこと、社会人としての知識とマナーの構築を図り、即戦力として活躍できる人材育成を目標としています。人と人とのコミュニケーション、動物とのふれあいを通じ、心の豊かな人物育成を目指します。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	引き続き、業界ニーズの情報収集、カリキュラム・教育方法の見直しを行っていきます。		

### 4、教育成果

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
4-1	就職率（卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	3
4-3	退学率の低減が図られているか	3	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
評価項目総括	就職に関してはクラス担任、専属のキャリアセンタースタッフによるダブルサポートを行っています。面接対策、心構え、社会人としてのマナーなど一環した指導を実施しています。学生とのコミュニケーションを密にし就職意識の向上と内容の充実を図っています。資格取得は特別授業を実施し取得率の向上に貢献している。		
各評価委員からの意見や課題	今年もトリマー専攻、動物看護専攻はそれぞれ総合就職率100%を達成。未就職で卒業した総合ペット専攻の1名も卒業後の4月上旬に就職を決め全員就職となりました。		
今後の改善方策	卒業までに全員就職できるよう早期からの意識付けを行っていきます。入学前の面談を実施して行く。		

## 5、学生支援

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
5-1	就職関する体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
評価項目総括	就職指導は担任と専任のキャリアセンタースタッフによる面談を実施し、学生の状況、希望する職種を始め情報の共有を図りました。課外活動に関しては大学とのコラボプロジェクトの開催、各種ボランティア活動等全面的に学校がバックアップし推進、評価を頂きました。卒業生の再就職の支援体制は整っており在校生と同様に対応、支援を行っている。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	特になし		

## 6、教育環境

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
6-2	学科実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
評価項目総括	学内施設・設備は、実際の現場で使用されている設備を整えるため、毎年見直しを行っています。28年度は教室のリニューアル、新しい設備の導入を積極的に行い、28年度末の時点ではトレーニングサロンの新設を計画しています（29年7月完成）。現場同様の施設・設備へのこだわりだけでなく、学外実習、インターンシップについても十分な体制を整備しています。防災訓練は、避難方法等を指示して実施をしています。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	特になし		

## 7、学生の募集と受け入れ

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
7-2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
7-3	入学専攻は適性かつ公平な基準に基づき行われているか	4	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
評価項目総括	本校は、北海道私立専修学校各種学校連合会の加盟校であり、連合会の定めたルールに基づいた募集時期・内容を遵守しています。また、入学案内、募集要項、ホームページ等の通り、適正に募集活動は行われており、学納金及び教科書・教材費等は毎年見直しを行っています。入学選考方法も募集要項の通り、適正かつ公正な基準をもとに実施しています。学校独自の奨学金制度も充実を図っています。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	引き続き適正かつ公正な基準をもとに実施していく。		

## 8、財務

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
8-38	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
8-39	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
8-40	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
8-41	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
評価項目総括	財務は学校運営の重要な一つである。事業計画を基に中長期の展望を見据え、収支予算計画を作成する。学校、理事会、評議員会と複数の目によるチェック体制のもと、より現実的な予算編成となっている。会計監査は、監事による監査及び公認会計士による監査を実施、計算書類は適正である旨の監査報告書をいただいている。財務情報の公開体制については、組織的に取り組んでいる。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	引き続き適正かつ公正な基準をもとに実施していく。		

## 9、法令等の遵守

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に監視、その保護のための対策がとられているか	4	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4	4
評価項目総括	法令や設置基準等に従い適正に運営を行っている。自己点検・自己評価の結果について公開を速やかに行っている。		
各評価委員からの意見や課題	特になし		
今後の改善方策	引き続き適正かつ公正な基準をもとに実施していく。		

## 10、社会貢献

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3
評価項目総括	社会貢献の一環として外部の団体や中学校や高等学校等の学校関係機関に施設等の提供を実施している。又教育的貢献として教職員によるボランティアとして校外機関での授業を実施し相互啓発をおこなっている。学生のボランティア活動を推奨し全面的に協力しバックアップしている。又学生並びに教職員共々社会の一員として社会貢献の重要性と意義を共通認識として理解している。		
各評価委員からの意見や課題	行政や様々な団体と連携し継続的にボランティア活動に少しでも多く参加して行く必要がある。		
今後の改善方策	時間を作り、積極的に活動していくなど。		

### ■今後の取り組みについて

各評価項目について、各評価関係者からの意見や課題を踏まえ、今後の改善方策等を計画的に検討し実施して行くことを評価委員一同確認し、教育体制を強化していく。

## 資金収支計算書

平成 29年 4月 1日から

平成 30年 3月 31日まで

学校法人 北海道安達学園

(単位 円)

収入の部	
科 目	決 算 額
学生生徒等納付金収入	1,160,545,891
手数料収入	12,106,941
補助金収入	23,363,786
付随事業・収益事業収入	9,721,735
雑収入	28,188,765
受取利息・配当金収入	17,750
前受金収入	775,382,562
その他の収入	11,777,883
資金収入調整勘定	△ 793,593,736
前年度繰越支払資金	1,919,659,409
収入の部合計	3,147,170,986

支出の部	
科 目	決 算 額
人件費支出	417,417,431
経費支出	436,729,131
借入金等利息支出	516,366
借入金等返済支出	93,612,000
施設関係支出	65,266,544
設備関係支出	7,347,396
その他の支出	66,248,429
資金支出調整勘定	△ 59,338,030
次年度繰越支払資金	2,119,371,719
支出の部合計	3,147,170,986

# 事業活動収支計算書

平成 29年 4月 1日から

平成 30年 3月 31日まで

学校法人 北海道安達学園

(単位 円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	決 算 額
		学生生徒等納付金	1,160,545,891
		手数料	12,106,941
		寄付金	0
		経常費等補助金	23,363,786
		付随事業収入	9,721,735
		雑収入	28,188,765
		教育活動収入計	1,233,927,118
	事業活動支出の部	科 目	決 算 額
		人件費	415,389,931
		経費	598,005,497
		徴収不能額	15,954,170
		教育活動支出計	1,029,349,598
	教育活動収支差額		204,577,520
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	決 算 額
		受取利息・配当金	17,750
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	17,750
	事業活動支出の部	科 目	決 算 額
		借入金等利息	516,366
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	516,366
教育活動外収支差額		△ 498,616	
経常収支差額		204,078,904	

特別 収 支	事業 活動 収入 の 部	科 目	決 算 額
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
事業 活動 支出 の 部	科 目	決 算 額	
		資産処分差額	
		その他の特別支出	
		特別支出計	0
特別収支差額		0	
基本金組入前当年度収支差額		204,078,904	
基本金組入額合計		△ 158,451,540	
当年度収支差額		45,627,364	
前年度繰越収支差額		△ 1,491,711,226	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△ 1,446,083,862	

(参考)

事業活動収入計	1,233,944,868
事業活動支出計	1,029,865,964



## 貸借対照表

平成 30年 3月 31 日

学校法人 北海道安達学園

(単位 円)

資 産 の 部	
科 目	本 年 度 末
固定資産	7,428,562,077
有形固定資産	7,425,173,773
特定資産	0
その他の固定資産	3,388,304
流動資産	2,141,998,467
資産の部合計	9,570,560,544
負 債 の 部	
科 目	本 年 度 末
固定負債	34,143,000
流動負債	884,262,875
負債の部合計	918,405,875
純資産の部	
科 目	本 年 度 末
基本金	10,098,238,531
繰越収支差額	△ 1,446,083,862
純資産の部合計	8,652,154,669
科 目	本 年 度 末
負債及び純資産の部合計	9,570,560,544

## 財 産 目 録

平成 30年 3月 31 日現在

学校法人 北海道安達学園

(単位 円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
基本財産	7,178,821,367
運用財産	2,391,739,177
合 計	9,570,560,544
負 債 の 部	
固定負債	55,561,000
流動負債	862,844,875
合 計	918,405,875
正 味 財 産	8,652,154,669